

先進事例の視察・研修

公明党
熊本真澄町、S・I・M熊本
2030、熊本市議会を視察

日本共産党
「市町村財政分析基礎講座」に参加して

平成29年1月5日・6日に熊本県を視察しました。

熊本地震で被害が大きかった益城町では、「益城だいすきプロジェクト・きままに」のリーダー役の吉村静代さんにお会いし、自主運営された避難所のこと、仮設住宅の今のことなどを伺いました。

夕方6時からは、熊本県庁職員有志の自主活動から生まれたS・I・M熊本2030の内容をリーダーの和田さんから伺いました。

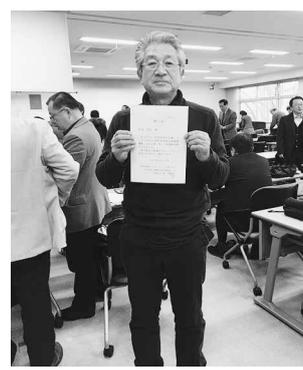
翌日は、熊本市議会の震災における行動や取組について伺い、食の工業団地・フードパルの視察も行いました。また、傷跡が残る阿蘇地域も視察しました。



「益城だいすきプロジェクト・きままに」の吉村静代さん（左から2人目）と

29年1月16日・17日、東京都野市の富士電機能力開発センターを会場に開催された「よくわかる市町村財政分析基礎講座」に参加しました。NPO法人多摩住民自治研究所が主催し、講師は同研究所理事長の大和田一紘氏でした。

財政用語の解説を聞きながら、「決算カード」などからの10年分ほどのデータをエクセルデータとして入力し、グラフ化することで、経年的な変化を目で見えるものにするための基礎作業を行いました。本市の財政データからひたすら数字を拾い出して記入する作業であり、まさに「慣れろ」の実践でした。



富士電機能力開発センターにて

交通安全 街頭指導に参加！

4月1日、春の全国交通安全運動における街頭指導が鶴ヶ島桜まつりの会場である運動公園で実施され、鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加しました。

当日は雨の降るあいにくの天気でしたが、声掛けをしながら交通安全の啓発品やチラシの配布を行いました。

事故にあわない、おこさない、皆様も御協力をお願いいたします。



編集 後記

これまで編集委員会では、諸先輩方が様々な改革を行ってまいりました。私は、より良い議会だよりを市民の皆様にお届けすべく、第177号から「季節に合った2色刷り」を導入しました。

また、次号からは「一般質問の記載方法の変更」を行う予定です、議会だよりは、より深い内容となります。

本号が、私の委員長としての任期最後の市議会だよりとなります。市議会だよりをお読みいただいている市民の皆様及び関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

(議会報編集委員)

- 委員長 出雲 敏太郎
- 委員 松尾 孝彦
- 委員 大野 洋子
- 委員 太田 忠芳
- 委員 長谷川 清
- 委員 小川 茂
- 委員 持田 敏
- 委員 内野 嘉広

おわびと訂正

市議会だより第178号11ページの議会レポートにおいて、議会開催状況の表の合計欄に誤りがありました。正しくは下記の表のとおりです。

おわびして、訂正させていただきます。

議会開催状況

会議	会期(日)	本会議日数(日)	委員会日数(日)				傍聴者数(人)
			総産	文教	予決	農大	
第1回定例会	28	6	1	1	4	103	
第2回定例会	23	6	0	0	1	82	
第3回定例会	24	6	1	1	4	118	
第4回定例会	21	6	1	1	1	70	
合計	96	24	3	3	10	373	
定例会会期外		0	0	0	1	0	

※総産…総務産業建設常任委員会 文教…文教厚生常任委員会
予決…予算決算常任委員会 農大…農業大学校跡地等整備の調査に関する特別委員会